



かけはし 懸心橋



老朽化が進む百石中学校校舎の実情について説明を受ける総務文教常任委員会（百石中学校校長室）

もくじ

■ 19年第2回臨時会	2ページ
■ 議長・副議長あいさつ	3ページ
■ 19年第2回定例会	4ページ
■ 一般質問	5～12ページ
■ 常任委員会活動	13ページ
■ 編集後記	14ページ

平成19年 第2回 臨時会 (5月9日)

議長・副議長など議会組織決まる

おいらせ町誕生後、はじめて行われた一般選挙で、町議会議員に当選された16名の議員による臨時会が5月9日開かれ、議長、副議長、常任委員会など議会の組織構成が決まりました。

第二回臨時会が五月九日に開かれ、正副議長の選挙については投票により、議長に西館秀雄議員、副議長に柏崎利信議員が当選しました。

また、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任並びに議会広報編集調査特別委員会の設置を行い、それぞれ、正副委員長を互選しました。

十和田地域広域事務組合議会の外、三組合議会の議員選挙については議長の指名により選出されました。

また、農業委員会委員の推薦については議長の指名推薦により二人の議員を選出しました。

報告案件十件については審議の結果、原案のとおり承認しました。

人事案件の町監査委員の選任については、採決の結果、原案は否決されました。

新しい議会の構成

おいらせ町議会には、二つの常任委員会が設置されました。各常任委員会では、議会から付託された議案や請願の審査を行うほか、所管している事項について、調査活動を実施します。

議長 西館 秀雄
副議長 柏崎 利信

総務文教常任委員会

総務、企画、財政、税務、出納、監査、選挙、教育文化に関する事項並びに他の常任委員会に属しない事項を所管する。

委員長 成田 隆
副委員長 西館 芳信
委員 松林 義光
委員 柏崎 利信
委員 袴田 邦彦
委員 馬場 福志
委員 吉村 敏文
委員 吉田 絹恵

産業民生常任委員会

農林、水産、畜産、商工観光、土木、建築、都市計画、上下水道、民生、保健、福祉、環境、病院事業に関する事項を所管する。

委員長 馬場 正治
副委員長 沼端 光雄
委員 佐々木 秀雄
委員 西館 恭子
委員 種市 恭子
委員 立花 國雄
委員 澤頭 好孝
委員 川口 弘治

議会運営委員会

委員長 佐々木 光雄
副委員長 沼端 光雄
委員 西館 芳信
委員 袴田 邦彦
委員 吉村 敏文
委員 川口 弘治

議会広報編集調査特別委員会

委員長 吉田 絹恵
副委員長 馬場 正治
委員 種市 恭子
委員 吉村 敏文
委員 沼端 弘治
委員 川口 弘治

一部事務組合議会の議員

●十和田地域広域事務組合議会
議員 吉村 敏文
議員 吉田 絹恵

●十和田地区環境整備事務組合議会
議員 川口 弘治

●八戸地域広域市町村圏事務組合議会
議員 種市 恭子

●上北地方教育・福祉事務組合議会
議員 袴田 邦彦

●農業委員会(議会推薦)委員 馬場 福志
委員 澤頭 好孝



第 2 回 臨 時 会

【報告案件】

専決処分等の承認を求め
るものについて

◆おいらせ町町税条例の
一部を改正する条例につ
いて

◆おいらせ町原子力発電
施設等立地地域における
固定資産税の特別措置に
関する条例の一部を改正
する条例について

◆おいらせ町国民健康保
険税条例の一部を改正す
る条例について

◆平成十八年度一般会計
補正予算及び六つの特別
会計補正予算について

以上、十件を承認しま
した。

【人事案件】

◆おいらせ町監査委員の
選任につき同意を求める
ものについて

投票による採決の結果、
反対多数により、原案は
否決されました。

議長就任の あいさつ



議長 西館 秀雄

おいらせ町議会議長就任にあたりまして一言ごあいさつ申
上げます。

さて、合併時に策定いたしました新町建設計画の基本理念
「奥入瀬の清流にはぐくまれた田園定住都市」の実現に向けて、
議決機関としての役割を踏まえながら、資質の高い議会を議員
の皆様と共に進めてゆへことが議長に与えられた使命と責任で
あると思っております。それを町民皆様も強く望んでおられる
ことと思います。

そして、次世代を担う子供たちのためにも合併して良かった
といえる町づくりを進めなければなりません。

それには農業、漁業、畜産、そして商工、観光、教育、福祉、
各分野においての「元気」。そして「元気」が響き合う地域になっ
てこそ、これからのおいらせ町がさらに発展することと思いま
す。その「元気」を生み出す「主人公」は政治や行政ではなく
町民自身であろうかと思えます。今まで以上に町民皆様が議員
の方々に多くの声を届けていただきたいと思っております。

最後に議長として就任させていただき、その責任の重さを痛
感じ、身の引き締まる思いとともに皆様からの大きい信頼と期
待をしっかりと受け止めながら、おいらせ町発展のために全力
で取り組んでゆく所存でございますので、今後とも町民皆様の
一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
議長就任のごあいさつとさせていただきます。

副議長就任の あいさつ



副議長 柏崎 利信

おいらせ町議会議長就任にあたりまして一言ご挨拶申し上
げます。

本年四月に、おいらせ町として初の議会議員選挙が行われ、
新たに十六名の議員が有権者の皆様の信任を得、選任いただい
たところであります。

その後の組織会において議員各位の特段のご配慮により副議
長に就任することとなり、気持ちも新たに身の引き締まる思い
であります。

副議長として万般に渡り議長を補佐し協力することは勿論の
ことでございますが、我がおいらせ町の語源から想像されるク
リーンなイメージを前面に出して行きたいと思っております。
たとえば、環境美化の推進、開かれた議会、財政の健全化、
行政執行の透明性等々に積極的に取り組んで参りたいと考えて
おります。

また、旧町の垣根を一日も早く取り払い、おいらせ町民として
の一体化を推し進めていかなければならないと思っております。
今後は、町民の皆様の負託に答えられるよう、誠心誠意、議
員活動に努めて参る所存でございます。

最後に、おいらせ町議会の更なる活性化を目指すと共に、お
いらせ町の益々の発展と、町民の皆様の幸せを心からご祈念
申し上げ副議長就任に当たってのご挨拶とさせていただきます。

白鳥飛来地駐車場の整備工事契約締結

県内でも、白鳥の飛来地として有名な「間木堤」の東側に駐車場（122台分）が整備されます。完成は平成20年度の予定です。



駐車場が整備される白鳥飛来地

平成十九年第二回定例会は、六月八日から十二日までの五日間の会期で開かれ、町監査委員の選任、白鳥飛来地駐車場整備工事請負契約の締結、滞納整理システム機器購入契約の締結、平成十九年度一般会計及び特別会計など、報告四件、議案十三件が上程され、いずれも原案のとおり承認・同意・可決しました。

一般質問には、八人の議員が登壇し、町当局の所見を求めました。

また、日本産婦人科学会青森地方部会長から出されていた「陳情書・妊婦健康診査の追加公費補助について」は内容審査のため、産業民生常任委員会に付託することにしました。

青森市で、開催される青森県下・町村議会議員研修会には、議会議員として必要な知識の習得と資質向上のため、全議員を派遣することにしました。

主な議案の内容

◆おいらせ町監査委員の選任について

議会選出のおいらせ町監査委員に立花國雄議員を選任した。



監査委員の立花國雄氏

◆白鳥飛来地駐車場整備工事請負契約の締結について

- ・ 契約金額
五千三百二十五万円
- ・ 契約の相手方
㈱ 柏崎組
- ・ 契約の方法
指名競争入札

◆滞納整理システム機器購入契約の締結について

- ・ 契約金額
二千二百三十六万五千円

- ・ 契約の相手方
㈱青森共同計算センター
- ・ 契約の方法
随意契約

補正予算

◆一般会計

補正額は、四千六百十八万円の追加で、総額は八十八億一千五百五十八万円。

- ・ 一般コミュニティ助成事業費補助金の追加
- ・ 障害者自立支援医療給付費の増額
- ・ 生産振興総合対策事業等補助金の追加
- ・ 百石中学校外壁補修工事費の追加
- ・ 職員人事異動に伴う人件費の追加など

◆国民健康保険特別会計

補正額は、百二十九万円の追加で、総額は二億六億七百三十六万五千円。

◆公共下水道事業特別会計

補正額は、九百五十万三千円の減額で、総額は十二億一千三百九十四万円。

◆農業集落排水事業特別会計

補正額は、三百九万九千円の追加で、総額は一億四百四十七万七千円。

◆介護保険特別会計

補正額は、百十七万円の追加で、総額は十五億二千二百四十七万円。

◆公共用地取得事業特別会計

補正額は、百三十三万九千円の追加で、総額は五千百八十八万六千円。



袴田 邦彦 議員

新農業振興計画 策定の基本的な 考え方は

質問 厳しい状況下にある農業、当町においてもその事は同じである。この様な中で農業振興計画策定の考え方を伺います。

答弁 自然と共生した住みよく活力ある農村振興、土地利用計画との整合性を図った振興、そして国、県の方針を踏まえ、農業者、各種団体等から意見を聞き新たな施策の構築等を基本として策定します。



畑地に利用されている水田（木ノ下地区）

質問 所信表明での「農業の発展、所得の向上を目指して」とあるが行政のトップとしてどの様な考え方でその施策を講じようとするのか伺います。

答弁 就業人口の減少、高齢化等の進行の中で土地利用を中心にした規模拡大の遅れが現実であります。このことから課題を明らかにし、施策の見直し等により発展を図り、所得の向上につなげてまいりたい。

質問 農家数の減少、農業従事者の高齢化、水田農業の衰退等々厳しい状況は当町も同様である中で、どの様にして「農業は町の基幹産業」であると言えるようにするのかわかります。

答弁 農業は古くから当町産業の核をなしてきました。現在では総生産額から見ると農業分野は多くない、産業全般からでは基幹産業と言えないかもしれないが、経済的側面だけではなく幅広くとらえる必要があります。

質問 農業振興計画書は農業を振興する地域の指定等が定められているが新町においての新農業振興地域の見直し等について伺います。

答弁 農業振興地域整備計画書は概ね十年先を見通したことを定めるものであり、新しい農業振興計画書は平成十九年度と二十年度の二ヶ年で策定します。

答弁 稲作農家の大変厳しい状況は認識しております。今年度から三ヶ年計画で策定した水田農業ビジョンにより地域の特性を生かした農作物の定着化等を図ります。

質問 今年度から始まった品目横断的経営安定対策と、農地・水・環境保全対策への取り組み状況について伺います。

答弁 昨年度から制度への加入対象者増加を図るため、おいらせ町担任手育成総合支援協議会を組織し、説明会等を開催してきました。その結果、認定農業者の大幅な増加がありました。

また、「農地・水・環境保全対策」については土地改良区等関係団体への説明会を開催した結果、九つの組織から申し込みがありました。

水田農業の 長期的振興策は

質問 水田の減反政策により稲作農家の経営は苦しさを増してきております。

町行政は独自の施策を講じなければならないと思うが、このような状況下でいかに振興し、どのような取り組みをするのかわかります。



減反政策により耕作放棄された水田（間木地区）



吉村 敏文 議員

高速通信網の整備について

質問 おいらせ町の将来発展を見据えたとき、高速通信網(光ファイバー)整備が不可欠と考えます。情報が叫ばれている現在、この高速通信網の整備を早急に進めるべきと考えますが、町の取り組みについて伺います。

答弁 今や企業の業務、個人の生活に不可欠な高速通信網の整備を促進することは行政として重要な課題であると認識しております。町としては住民からの要望に応える形でNTT

八戸支店に整備要望書を提出しました。その結果、本年一月に町内の一部地域において光回線が整備されました。さらに町内全域にわたる高速通信網の整備に向け働きかけてまいります。

一川目地区と

二川目地区の歩道整備を

質問 県道八戸・百石線(一川目町内)と国道三三八号(二川目町内)の歩道整備の進展状況について、町内の住民の安全を考えたとき、現状の歩道のあり方では安全が確保できないと思います。「住民の安全を守る」との視点から、町長の考えを伺います。

答弁 県道八戸・百石線(一川目町内)ですが、歩行者に対する安全性が危惧されていたことから平成十四年度から県において歩道整備事業に着手

し、今年度は未整備区間六百メートルの歩道整備工事を完成させ、住民の交通安全確保を図る予定と伺っております。

また、国道三三八号(二川目町内)の歩道整備について、当地区は小学校、中学校への通学路でもあり、安全対策が急務であることから県に対して歩道の拡幅整備を要望してまいりました。

その結果、甲洋小学校から二川目保育園までの一・二キロが平成二十一年に着工、二十二年度完成予定と伺っております。



歩道の整備が急がれる国道338号(二川目地区)

百石中学校の建て替え計画は

質問 百石中学校は築三十五年を経過し老朽化が著しく、最近も外壁の一部が落下し、非常に危険度が増大している現状です。「人の教育」はおいらせ町発展に欠くことのできない重点事項です。生徒たちが伸び伸びと学べる環境を一日でも早く整備する必要がありますと考えますが、町の取り組みについて伺います。



老朽化が著しい百石中学校校舎

答弁 百石中学校の教育環境の整備充実は急務であり、平成十九年度に耐力調査、耐震診断の結果を踏まえた上で平成二十年度に実施設計書を作成し、二十一年度から二十二年度の二年間で校舎を建築し、平成二十三年度に講堂の耐震補強工事を完了したいと考えております。

洋光台分譲地の販売状況は

質問 昨年は分譲地の販売促進のため、町として定住促進助成制度を講じて販売にあたってきたが、販売状況はどのようになっているか。

また、今後この制度について改善する必要があるか伺います。

答弁 昨年度は二区画が売れ、残りは二五区画となっております。特に昨年は洋光台団地定住促進助成制度を導入することができましたので、今後さらに販売促進につなげてまいります。

定住促進助成制度は土地を購入してから三年以内に建築した場合に補助金を交付する制度ですが、この期間については今後、制度を運用する中で検討していきたいと思っております。



松林 義光 議員

木ノ下小学校 第二体育館建設 大幅に遅れる

質問 木ノ下小学校は六百七十五名と上北郡下トップのマンモス校です。しかし、体育館は当初のままです。卒業式も全校生徒で実施できないのが実状です。木ノ下小学校第二体育館の建設は合併協議会でおいらせ町の重要施策に位置づけ、平成二十年度工事着手となっています。計画どおり進めると思われるが、その考えを伺います。

答弁 合併協議会の計画では、平成二十年度工事着手の予定でしたが、実施計画のローリングで計画変更しています。百石中学校の老朽化が予想以上に進んでいることから同校の整備が急務であると判断したためです。

よって、木ノ下小学校第二体育館建設は、平成二十三年度実施設計、二十四年度工事着手の予定で進めます。

質問 重要施策を実施計画のローリングで簡単に変更しています。となれば、合併協議会の建設計画は何なのか伺います。

答弁 合併協議会の新町建設計画は最大限尊重しつつも、ローリングで変更もあり得ますことをご理解願います。

屋内ドーム建設 を進める考えは

質問 屋内ドーム建設は、かなりの財源を要することから一朝一夕にいかないことは十分わかっています。中期的構想で進めて行くことが肝要であると思います。



体育館が狭いため4、5、6年生のみで行っている卒業式

さて、町長の公約である体育施設整備の中に、屋内ドーム建設は構想としてあるのか伺います。

答弁 通年スポーツができる屋内ドームの必要性は十分理解しています。

しかし、財源の問題もあり、整備できる環境にないことをご理解願います。

ふれあい駅伝大会を復活させる 考えは



選手と応援団が一体のふれあい駅伝大会

答弁 合併で中止しましたが、今後どうするのか協議することになっています。より多くの声を聞きながら早い段階に結論を出します。

保育料の軽減を 公約どおり実施 するのか

質問 町長は合同個人演説会で上限である三万円を更に軽減することを明らかにしました。保育関係者は期待しているはずですが、町長の発言は重く思います。公約どおり保育料の軽減を行うのか伺います。

答弁 軽減となると新たな財源が必要となります。厳しい財政状況下では、公約したものの実施に踏み切れないことをご理解願います。

北部地区の公園 用地取得の進展 はあるか

質問 古間木山の方々は公園設置を切望しています。用地取得は前向きに検討することでしたが、進展はあるのか伺います。

答弁 緊急性、重要性をもとに、全体の実施計画の中で検討して参ります。

すべての町民が健やかで安全・ 安心にらせる町づくりのために



種市 恭子 議員

住民懇談会の開催を

開催を

質問 住民自治基本条例が策定されつつある今、町と住民が協働のまちづくりを推進するためには相互理解による信頼関係が必要だと思います。

そこで「住民懇談会」を各地区で開催してはどうか伺います。

答弁 今月から「自治基本条例」の素案の骨格の部分に着手しますが大事なことは開かれた行政への取り組みであります。仮称ですが「自治基本条例フォーラム」を七月末に開催を予定しており、町づくりに対して町民の様々な意見を承りたいと考えています。

また、さらに住民懇談会の開催は不可欠であると判断しています。来年度以降いくつかのエリアに分けて実施する用意があり、幸せ感が日々向上していく、「おいらせ町」

を創って参りたいと考えています。

食生活改善推進

員の養成を

質問 昨年十一月、青森県でも食育推進計画が策定されましたが、その中で食生活改善推進員が食育応援隊として食育支援をすることが明記されています。

当町でも計画が策定されると思いますが将来、各世帯に一人の推進員の養成をめざし毎年養成講座を開催し、良い食習慣、生活習慣の定着によって健康家族を増加させ医療費や介護保険料の抑制につなげてはどうか伺います。

答弁 近年生活環境の変化に伴い食の乱れ等により生活習慣病が増加しています。このような状況から積極的に取り組んでいく組織団体の充実、強化が求められています。

そこで、食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、地域において健全な食生活を推進するボランティアの養成に努めて参ります。このような観点から、年内の早期開講実施に向け計画作成作業を行ってまいります。また、今年度策定する「食育推進計画」を総合的かつ計画的に推進していく上からも、来年度以降の養成も大切であることから継続実施して参りたいと考えています。

老人福祉センター

における安心・安全のため職員の配置体制は

質問 合併後、社会福祉協議会が、いきいき館に移動しセンターは閑散としています。利用する高齢者の安心・安全への対応は十分か伺います。

答弁 社会福祉協議会の職員一名を派遣しており、窓口での健康確認や施設の巡回等により安全確認に努めております。



1人体制で運営している老人福祉センター

質問 職員による健康状態の確認や一人体制では目配り配りが不十分であると思います。保健師も含め二人体制にできないか伺います。

答弁 人員の配置関係もあるため老人福祉センターの運営全般について、今一度検討して参ります。

木ノ下・三沢線の町道拡幅を

質問 住吉町の信号機からサンワドーまで右折ライン設置のため拡幅されたが、県道八戸・野辺地線三差路まで延長する考えはないか。歩道も含めて今後の計画を伺います。

答弁 舗装路面、歩車道境界ブロック及び側溝等の老朽化による損傷が著しく早急な対応が必要と思っております。

平成二十三年度から現道幅での改良工事を予定しているが、道路整備計画の中で車道、歩道の拡幅をも検討して参ります。



馬場 正治 議員

町の財政状況 について

質問

①わが町の財政状況について平成十八年度以降の主要な財政指標の見込みを示していただきたい。

②各指標が示す意味と現状に対する評価について伺います。

③財政改善の具体的政策について伺います。

④外部監査制度活用を考えはないか伺います。

答弁

①別表のとおり。

②実質及び連結実質収支比率について四半期ごとに見直して健全な財政運営に努めています。

実質公債費比率は平成二十二年度にピークを迎えるが、合併特例債の活用により二十三年度からは徐々に低くなると予測しています。

将来負担比率についても各事業会計において債務残高が減っていく見込みであり、今後数値は下がると考えています。

③歳入については自主財源である税の収納率向上に継続して取り組み、歳出においては事務事業の整理・統合、各委員会や団体の報酬・補助金の削減、職員の定員適正化による人件費の削減を図って参ります。

④現時点においては考えていないが、近々の課題として受け止めつつあります。

平成17年度以降の町の主要財政指標

(別表)

年度→	17	18	19	20	21	解 説
実質収支比率(%)	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	一般会計等における実質収支の標準財政規模に対する割合(3%~5%が望ましい)
連結実質収支比率(%)	3.6	4.5	4.0	4.0	4.0	全会計を対象とした実質収支の標準財政規模に対する割合
実質公債費比率(%)	17.6	18.7	19.1	20.2	—	公債費に係る財政負担の程度を示すもの 18%以上…起債(借金)に国の許可が必要 25%以上…一般事業等での起債が制限
将来負担比率(倍)	4.96	5.14	5.09	5.05	—	財政規模に対する将来負担の大きさを示す指標

公共工事の平均 落札率について

質問

①昨年度の入札結果と、八戸市並みの八十パーセントであった場合の財政削減効果を示していただきたい。

②国が進める全市町村への一般競争入札の導入に對しての対応について伺います。

答弁

①昨年の平均落札率は九十四・九パーセントであり、八戸市の落札率で試算した場合は一億七千五百万円円の削減となります。

②今年度から業者の総合評価方式を検討しており、一般競争入札導入については地元企業が不利益をこうむらないよう慎重に検討して参ります。

駐在所廃止後の 施設活用について

質問

今年度「おいらせ交番」の業務開始に伴い町内の三つの警察官駐在所が廃止解体されると聞かすが、現在の施設を地域の防犯拠点として「地域安全センター」のように防犯ボランティア団体(パトロール隊)に提供できないか伺います。

答弁

この件に関しては二川目駐在所施設を残して欲しい旨の要望書も周辺の町内会から出ているが、町が施設を所有することによる維持管理費用の発生や取り壊しする際の最終処分費用の負担などの問題があり、各地域には集会所施設があることなどから今のところ積極的に活用することは考えていません。



今年度解体が予定されている下田駐在所(左)と二川目駐在所(右)



川口 弘治 議員

阿光坊古墳群を保存 用地の買収も計画

阿光坊古墳群 について問う

質問 先般、当町の阿光坊古墳群が国史跡指定へと国の文化審議会が文部科学省に答申された旨の報道がありました。

久々に夢のある報道に心が和むと同時に、いにしえより宝物が贈られてきたのかなと嬉しく思います。

この阿光坊古墳群が文部科学省に国史跡指定として答申された理由をお聞きします。

また、この古墳群を今後どのような計画で管理保存していくのか伺います。

答弁 阿光坊古墳群は、七世紀前半から九世紀末にかけての末期古墳と呼ばれる古墳群で、期間が二百五十年から三百年と非常に長い期間営まれてきています。

これまで、百八基の古墳と八基の土坑が見つかり、未発見のものを含めると二百八十基程度の墓域と予想され、規模がまことに大きいこと。古墳の保存状態が良好であること。出土した副葬品が、藤手刀(わらびてこ)・鉄斧(てつおの)・玉類・土師器(はじき)など内容が豊かであることが高く評価されたものと思われまます。

今後の管理保存の計画については、積極的な公開と活用の促進、町民が主体的に文化財の保存活用に積極的に参加できる環境をつくることが重要であると認識しております。

平成二十年度から五年程度で保存管理計画、基本計画、実施設計策定等と並行して用地買収を進める予定です。

また、平成二十五年から古墳の整備を開始したいと考えていますが、完成まで相当の年数を要するものと見込まれます。

再質問 町民が積極的に参加できる環境づくりについて具体的にどのようなことを考えているのか伺います。

答弁 阿光坊古墳群について、地元の宝は大切に守っていくという発想からボランティア団体が出来つつあります。その中にガイドができる方を養成したいと考えています。

また、広く町民や学校の子供たちに学習の場として提供していきたいと考えております。



発掘調査された阿光坊古墳



阿光坊古墳群から出土した遺物



吉田 絹恵 議員

②ごみ減量対策
PUSHUP

非営利団体の集団回収事業に報償金制度があることをPRしてはどうか伺います。合わせて減量に意欲的に取り組もうとする地区を募集し、合わせて環境美化運動も推進することとし、モデル地区に対し、補助金を交付する考えはあるか伺います。

③ごみの訪問回収
PUSHUP

ごみ集積場所にこれない一人暮らしの高齢者の方、障害者の方のところに訪問して、ごみを集めてくれるという考えはあるか伺います。

答弁

①当町の十八年度のごみの総排出量は八千二百六十トン、費用にしますと一億七千七百七十二万円の負担金でした。生ごみについては、総排出量の廃棄物の三割から四割を占めています。生ごみの減

量と資源化は、一般廃棄物を削減する上で重要な課題であります。今後、補助制度について実施している市町村から情報収集しながら費用対効果を検証し、検討して参ります。

②ごみ減量対策についてですが、現在ごみの減量化と住民のごみの処理に対する認識を高めるため有価物を回収する非営利団体に回収事業奨励金の交付を行っております。今後モリサイクル意識の啓発と、ごみ排出削減に有効な施策のひとつとして活動を奨励していくため、広報、町内会、子ども育成会、出前講座等を通じ積極的にPRして参ります。

答弁

③ごみの訪問回収についてであります。現状からは困難であると考えます。該当する世帯への支援、声かけを地域の方々の協力をあおげるよう周知して参ります。



通勤、通学道路わきのゴミ拾い

百十一件のうち六十一件、徴収金額が三百二十七万九千六百四十円、徴収率が七・三パーセントです。また、町税以外の公金滞納についても、町税等収納対策本部幹事会でそれぞれ情報交換しながら随時に文書催告、そして臨戸訪問を繰り返し滞納額の減少に向け積極的に取り組んでおります。

ボランティアについて

質問 当町のボランティア育成に対する育成支援について伺います。

答弁

ボランティアにかかわるそれぞれの担当課を連携させ、家庭、学校、地域の中でボランティアの精神、必要性を理解していただける環境の整備、研修等できる、体制を構築して参りたいと考えております。

滞納税について

質問 滞納税を始め国保の保険料、保育料、給食費、町営住宅使用料等々の滞納金についての回収計画を伺います。

答弁

昨年度、滞納税対策として滞納整理対策室を設け、月末夜間徴収、毎月第一日曜日と第一から第四火曜日の夜間に納税及び相談、さらに税務課職員による一斉夜間徴収、各課長との合同臨戸訪問徴収等も実施し、三

①生ごみ処理対策
PUSHUP

今後、生ごみについて自家処理を推進し、生ごみの堆肥化に補助金を出す考えがあるか伺います。

ごみを出さない工夫を

質問 ごみ問題について消費生活が豊かになり生活も多様化するにつれて家庭から排出されるごみの量も増加の一途をたどっていると思います。今後このごみ問題についても財政負担に耐えられるかどうか伺います。

答弁

①当町の十八年度のごみの総排出量は八千二百六十トン、費用にしますと一億七千七百七十二万円の負担金でした。生ごみについては、総排出量の廃棄物の三割から四割を占めています。生ごみの減



西館芳信 議員

町長の事務の適正執行を確保するための監査制度等の充実について

総務省の財政指標の公表を求める動向に準備はあるか。

質問 夕張市の例が顕著なように国のみならず日本中の自治体が今や財政の危機に瀕している。町の財政執行に今ほど経済性、効率性、有効性が求められる時はない。総務省は近年中に全ての地方自治体に四種類の財政指標の公表を求める動向があるが、これに 대응できる準備はできているか問う。

答弁 総務省は本年三月地方公共団体の財政の健全化に関する法律案を国会に提出し、六月中に成立する見込みとなっております。

四指標は実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率であり、四指標のうち一つでも基準を上回ると財政健全化計画の策定が義務づけられ、さらに、財政の早期健全化が著しく困難であると総務大臣や知事から勧告されると外部監査も義務づけられることとなります。

財政指標の基準値はこれから定められることになっており、現段階では当町がどのランクに位置づけられるのか把握できない状況であります。

財政健全化の一助となる外部監査人制度の導入について町長はどう考えるか。

質問 市町村の監査というのは本当に問題がある。地域が狭いゆえに、顔を

覚えた人で遠慮がある、自分で通そうとしてもいろんな規制がかかってくる現実があります。「なあなあ監査」はもう許されない昨今、監査事務の独立性、専門性、外部性を担保として財政の健全化、事務執行の適正化を図るため監査委員制度を補完する会計士、税理士等による外部監査人制度の導入はいかがか。

現監査委員制度に対する所信と併せて町長の考えを伺います。

懇談会の意見を聞くなど事務執行の適正化に取り組んでおりますので、現時点では外部監査制度導入の具体的な取り組みは行っておりません。

しかし、現在策定中の行革大綱においてその導入推進を明記したところですが、また、現行の監査委員制度については長く積み重ねられてきた制度であり、「なあなあ監査」ではないと認識しております。当面はこれまでの取り組みと、その成果を検証し外部監査制度の導入を検討してまいります。

再質問 「財政指標の公表を求める動向に準備はあるか」について、もう一度答弁願います。

外部監査制度については喫緊の課題としながらも自助努力して事務の適正執行を図り行政改革をしていくという事は、あくまでも自分たちのせい肉をそぎ落としく作業です。自分たちが自助努力するものと、そして監査委員が介在して検査

し、町民へ公表する機関、これは全く別なものです。現監査委員制度に対する所信についてももう一度お願いします。

答弁 総務省からの財政指標の公表を求める準備はできているかの問いについてはですが、法律が通れば全国の市町村に提出を求められますので当然として担当課でやっております。四指標の公表準備はできております。

現状の監査制度についてですが、これまで監査委員になった識者の方、議員代表の方は、適切な方になっておりますので十分予算のチェック、町の事務執行のチェックは行われていると認識しております。

時代の変化とともに外部監査制度は強化されるものと思っておりますので、前向きに導入して参りたいと考えています。

再々質問 監査制度について伺います。
① 監査のあり方、監査委

員制度のあり方が何も変わっていないと思うが町長の考えは。

② 職員の兼務体制をなくして、監査事務局を独立させる考えはないか。

③ 識者の監査委員を一名から二名にする考えはないか。

④ 組織の中で不正が行われていることがあれば内部通報の窓口を設ける考えはないか。

⑤ 代表監査委員（識者）の報酬を上げ、議会選出の監査委員をなくす考えはないか。

⑥ 今日、これから提案される議会選出の監査委員の案件について撤回する考えはないか。

答弁 現体制の監査制度は歴史と価値がある監査制度であると認識しております。質問の②から⑥については、現時点ではその考えはありません。今回、提案している議会選出の監査委員の案件については適任者であると思しますので撤回する考えはありません。

産業民生常任委員会を開催、現地調査実施

陳情書「妊婦健康診査の追加公費補助について」は委員会として採択。



百石漁港の整備状況を調査する委員



所管する事項を審査する委員会

6月19日、産業民生常任委員会（馬場正治委員長）を開催し、所管する町内施設の現地調査を行いました。

現地調査は、主に懸案となっている施設を中心に、担当課長の説明のもと、国道45号錦ヶ丘地区右折レーンの設置、百石漁港の整備状況など10カ所の調査を行いました。

委員会では現地調査後、側溝の整備や道路の拡幅など整備の立ち後れている地区について意見交換しました。

特に北部地区における宅地化により、雨水排水対策が大きな問題となっており、抜本的な雨水排水計画が必要であるとの意見が出されました。

また、6月定例会において委員会付託となっていた、陳情書「妊婦健康診査の追加公費補助について」の内容について担当課長の説明を受けた後、陳情書の取扱について審査の結果、委員会として採択することにしました。

陳情書の要旨（提出者：日本産婦人科学会青森地方部会長）

明日を担う小さな子供、そして産み育てる母親を守るため、妊婦健診の無料受診（現在は2回）を5回に増やすこと。

総務文教常任委員会は町内学校校舎の現地調査

下田中学校、木ノ下中学校、木ノ下小学校、百石中学校の4校を調査。

6月29日、総務文教常任委員会（成田 隆委員長）を開催し、町内学校校舎の現地調査を行いました。

町教育委員会の立ち会いのもと下田中学校、木ノ下中学校、木ノ下小学校、百石中学校を調査し、学校側の校長及び教頭から懸案事項などの説明を受けました。

現地調査後、常任委員会では百石中学校校舎の老朽化と、木ノ下小学校の狭あいな体育館の問題などについて意見交換しました。その結果、百石中学校と木ノ下小学校の問題は、同時に推し進めるよう要望することになりました。

また、学校給食体制については旧百石町はセンター方式、一方旧下田町では学校単独方式であること、給食職員の雇用体系に差異があること、そして、百石地区の学校給食センターの老朽化が進み、建て替えの時期がせままっていることなど、早急に方向性を出す必要があるとの意見が出されました。

常任委員会としての意見集約は次の委員会開催時に話し合うことにしました。



学校の校舎を視察する委員(木ノ下小学校)



総務文教常任委員会の様子

議長日誌

4月

5月

6月

- | | | | | | |
|----|----------------------------|----|-----------------|----|----------------|
| 29 | 「日本一の自由の女神と桜祭り」オープニングセレモニー | 31 | 上北郡町村議会議長会定例会 | 29 | 総務文教常任委員会 |
| 28 | 下田朝野球大会開会式 | 28 | 町商工会通常総代会 | 28 | 三沢地区連合防犯協議会総会 |
| 27 | 町体育協会定例総会 | 25 | 東京おいらせ会総会（二十六日） | 28 | 三沢地区連合防犯協議会総会 |
| 26 | シルバー人材センタ―通常総会 | 19 | 三沢市長故鈴木重令氏三沢市葬 | 27 | 町納税貯蓄組合連合会定例総会 |
| 25 | 町地域水田農業推進協議会総会 | 16 | おいらせ塾第二期生開講式 | 24 | いちようマラソン大会 |
| 19 | ほがらか教室開講式 | 11 | 町交通安全協会定例総会 | 19 | 産業民生常任委員会 |
| 14 | 町こども会育成連合会総会 | 11 | 町交通安全協会定例総会 | 18 | 町青少年育成町民会議総会 |
| 13 | 議会広報編集調査特別委員会 | 11 | 町交通安全協会定例総会 | 16 | 南部児童センター落成記念式典 |
| 9 | 町内小中学校入学式 | 9 | 第二回臨時議会 | 14 | 町物産振興会定例総会 |
| 6 | 町観光協会定例総会 | 9 | 第二回臨時議会 | 8 | 第二回定例議会（十二日） |
| 5 | 全国将棋祭り実行委員会定例総会 | 9 | 第二回臨時議会 | 5 | 青森県町村議会議長会臨時総会 |

議会は自由に傍聴できます！

次回定例会は9月です。会場は役場本庁舎の議場（3階）です。おいでになる際は事前に開会期日について議会事務局にご確認ください。6月定例会の傍聴者は17人でした。

編集後記

新メンバーでの議会だよりの編集、発行を無事に終えてほっとしております。

諸先輩が築いて下さった礎に感謝しながら、これからも活発に意見、情報を交換し、町民の皆様にご覧いただける「懸橋」をお届けしたいと思っております。よろしくお願い致します。

世間は社会保険庁の管理のあり方に怒っております。何を信じればいいのか本当に悩んでまいります。

やはり、どんな場合でもチェック機能はきちんとしなければなりません。一人ひとりが行動に責任をもつてすれば過ちは起こらないと思うのですが、何事も人まかせだと過ちも発見できません。私たち議員も自分に厳しく町民の皆様のご代表である事を忘れることなく頑張っていきたいと思っております。

町民の皆様もどしどしご意見、感想をお寄せください。そして、議会の傍聴にも足を運んで頂ければと思います。



議会広報編集委員会の委員です
よろしくお願ひします。